

○今回は、一年生の後期学級役員認証式での話を載せます。

今、後期学級役員の任命書を渡しました。学級役員の皆さんは、これから、それぞれの学級のリーダーとして、学級をリードしていくことになります。

前期の学級役員認証式の際に、私が皆さんにした話を覚えているでしょうか？リーダーとフォロアーという話をしました。すこし、復習したいと思います。

●**リーダー**とは、集団の目的を達成するために、周りの人を導く人のことです。

リーダーは、先頭に立って言葉でみんなを導くことはもちろんのこと、時には、集団の流れに乗れない人に対しては、近くに行って手を貸すような優しさや自ら率先して行動することも必要だと思っています。

●もう一つ大事なのが、**フォロアー**です。リーダーをフォローする人ということです

「フォロアー」とは、具体的には、リーダーのいうことを、自分なりに理解したうえで協力したり、自分に何ができるか考えて具体的に行動できる人のことだと考えています。それぞれの学級に、良いリーダーと良いフォロアーがたくさん生まれることを期待しています。

そのうえで、後期のリーダーは前期のリーダーと異なる点があります。それは、2年生になる準備をする時期の学年、学級のリーダーになるということです。

この2学期には、皆さんにとって初めてとなる青雲祭や合唱祭がありました。今自分が持っている力精一杯出して頑張った生徒が多かったと思います。合唱祭での学年合唱「HEIWAの鐘」は、西中の伝統の一つである「合唱」を、この1年生がさらに素晴らしいものにしてくれるのではないかと期待を抱かせる素晴らしい演奏でした。

また、これらの行事では、2年生、3年生のすごさを感じたことと思います。5ヶ月後には、皆さんは2年生となり、新入生を迎えます。その準備をするのが、これからの5ヶ月です。ぜひ、新しいリーダーとそれを支えるフォロアーの力で、2年生に向かう準備をしてください。

皆さんには、2年生を迎える準備として、全員に心がけてほしいことを、一つ言います。

それは「**人の話を聞く**」ということです。

「なんだ、そんなことか」と思った人も多いと思いますが、私は、学校という場で、最も大切なルールは、この「聞く」ということだと思っています。

たとえば、学校の活動の中心である「授業」を考え見てください。授業は、先生からの説明や問いかけや指示で動いていきますし、友達の発言を聞いて考える場面もあります。すべてに共通しているのは、「聞く」ということです。

「聞く」ことを全員がきちんとできなければ、授業は成り立ちませんし、授業の内容が分からなくなります。一日の目当てを決めたり振り返ったり、様々な予定を確認する朝の会や帰りの会もそうです。「聞く」ことがきちんとできなければ、「今日何をやるか」や「明日はどんな予定か」も、正確に伝わりません。

また、「**人の話を聞く**」ということは、話している相手を大切にしていることにもなります。

皆さんは、友達に話をし始めたら、相手が、自分が言い終わらないうちに、「でも……」と言って話を始められてしまったという経験のある人もあると思います。その際に、皆さんはどう思ったでしょうか。おそらく、「自分は大事にされていないな」と感じたのではないのでしょうか。反対に、話を最後まで聞いてもらった時は、「この人は自分を大事にしてくれている」と感じたことがあると思います。

私は、「聞く」というのは、授業を進めるうえでも、相手を思いやる意味でも、とても大切なことだと思っています。

今、皆さんは、非常に立派な態度で私の話を聞いてくれています。この姿を、毎日の授業や学校生活の中で、全員が、実行して、新入生に、西中2年生として、「人の話をきちんと聞く」姿のモデルになってほしいと思います。

今日、認証した後期学級役員さんとフォロアーの皆さんが、協力し合って、2年生への準備を確実に進める5ヶ月となることを期待して、私の話にします。君たちならできると思っています。